

風張です。

先日9月17日に小畑監督とお会いしましたので写真を送付いたします。

計画時点ではH18卒の風張、H19卒の中村の前後数年で声掛けをして、合同OB会としたいと思っていました。

しかし、夏場のコロナ感染者数の急増によって、1ヶ月前の盆明け時点でまだピークアウトとは判断できず、いったん中止として集まれる人だけで会食としました。

結果的には直前キャンセルもあったりして、監督を含めて5人となりましたが、少人数で濃密な時間を過ごせて非常に良い会になり、監督が元気なうちに是非リベンジを、ということで散会しました。

参加者は小畑監督、H15高橋淳也先輩、風張、H19の中村&梶(とが)の5名、淳也先輩と梶はほぼ卒業以来の再会でした。

近況でいくと、小畑監督も体調に不安な部分もあるとのことですが、顔色もよくお話する限りとてもお元気にされていると感じました。

淳也先輩は日本製鉄名古屋に勤務され、順調に出世されているとともに、神戸製鋼に勤める小生とも同業で共通の知り合いもあり、貴重な情報交換をさせていただきました。また、現在も会社の空手部で大会に出場されることがあるとのことでした。

中村は長らく郡山で勤務しておりましたが、近々仙台への転勤が決まったとのことでした。我々は仙台に残るOBが少ないのが悩みですが、非常にありがたいことです。

梶は卒業はじめて会うことができました。工学部応物の助教から、nims(文科省独法の物質・材料研究機構)の研究者としてつくばと東大で数年勤務、今年はじめて民間企業に就職して任期付きの立場から開放されたため、OB会にも参加できるようになったということです。厳しい世界ですね。現在は会社員として東大に駐在しながら勤務しているということです。

卒業してから15年ほどたち、皆それぞれの立場になって再会するのは非常に有意義と感じました。また、今回の収穫は、声掛けによって卒業依頼ほとんど連絡を取れていなかった方々とも、だいたい繋がった点です。

宮島先輩、同期の北畠などお子さんが生まれたばかりで都合つかずという喜ばしい理由であったり、その他の方も仕事やコロナを気にされてということでしたが、概ねポジティブなお返事をいただけただことも良かったです。

以上、簡単ですがご報告まで。

